

第7回 高浜町総合計画審議会

日時：令和2年11月5日（木）午後1時30分より

会場 高浜町役場2階会議室1,2

1. 開会

- ・ 委員15名のうち13名が出席、高浜町総合審議会条例第6条第2項の規定により会議の成立を確認。
- ・ 会議録作成のため、録音を行うことを確認。

2. 会長あいさつ

田中会長 テレビではアメリカ大統領選挙とコロナで賑わっている。コロナによって枠組みが大きく変わろうとしており、また、不確実性が高まる中で、この総合計画は2030年を見据えた計画となる。昨年の12月から開始した審議会であるが、ここまで策定にあたって、皆様からは多くの意見をいただくことができた。御礼を申し上げたい。本日が最後の会議になろうかと思うがよろしくお願ひしたい。

3. 議事

(1) パブリックコメントの実施結果について

事務局 資料1 パブリックコメントの実施結果について 説明

田中会長 事務局からのパブリックコメントの実施結果の報告についてご質問、ご意見等があればお願ひしたい。

委員 パブリックコメントでは6次産業に関する意見が多くあった。町の方では6次産業と1次産業をどのように捉えているのか。

事務局 1次産業は高浜町の基幹産業として捉えている。基本計画の32ページに記載しているが、1次産業が継続しているような支援を進め、さらに一次産業の高付加価値も進めていきたい。

また、水産業については、収益の安定化とともに、高付加価値を図るためにブランド化、6次産業施設、また、漁協等の施設の移転も含めて、城山のエリアでの振興も図っていきたい。そういった主旨を基本計画に記載している。

委員 6次産業の振興に向けて漁協も出資しているが経営には携わらない。その中で、現状として漁協はどのような関わり、どこまで関わっていくのかがわからない。組合員からは6次産業施設の経営は難しいという意見出ているが、町は力を入れているように思う。6次産業施設以外のところに力を入れてもらった方が良いという意見もある。漁協や組合員の思いも踏まえながら取組を進めてもらいたい。

事務局 パブリックコメントでも指摘されているが、行政側の説明不足もあり十分に漁協、組合員、住民とビジョンを共有できていないのかもしれない。丁寧に広報、告知を

していきたいと考えている。町だけが進めても前に進むものではない。同様の意見はたくさん頂戴しており、施策の広報について丁寧に対応させていただきたい。

委員 基本計画の記載について、漁業にも種類がたくさんある中で養殖だけが強調されていることに違和感がある。もう少し全体的な話をしてもらいたい。養殖は大事だが、一部に限定されてしまう。なぜ、養殖だけなのかと思う。

事務局 養殖だけを振興、後押し、特化するわけではない。漁業者、漁協と対話を通じて、担い手を増やし、漁業が持続可能な漁業となるような施策を検討していきたい。新しい担い手が携わってもらえるように今後 10 年新しい漁業をつくっていききたい。本日は担当の産業振興課が出席していないため、十分に掌握できていないが、計画案としては漁業としてもしっかりと取り組んでいくと記載させていただいている。

委員 「養殖」と記載されると、産業振興課の担当者と話をしたときに「養殖」が話の前提になってしまい、他の分野について相談しにくくなる。もう少し、記載の方法がなかったのかと思う。今後、力を入れていくということは理解させていただいた。

(2) 全体構成について

(3) 総合計画案について

事務局 資料 2 総合計画案の全体構成について 説明

資料 2 総合計画案について 説明

田中会長 資料 2、資料 3 の事務局からの説明を踏まえて、ご意見、ご質問等をお願いしたい。

委員 令和 3 年からの計画ということだが、コロナがない時の通常の施策のことだが、コロナのことはどのようにするのか。来年度、老人クラブはどのように活動するのか計画が難しい。来年はコロナがないのかどうか。今まで通りの様々な制約、制限があると、老人クラブの活動が空中分解するような状況である。集まることができない、相談することができない、懇親の場がない。どのようにしていけばよいのか。この計画はコロナのことを考えた計画なのか。

事務局 昨年 12 月に審議会を立ち上げ、3 月に基本構想をとりまとめた。4 月には都心で外出抑制がなされたが、審議会でもコロナについて多くの意見を頂戴した。具体的には、総合計画の 11 ページの時代潮流でコロナについて記載させていただいた。コロナを含めた様々なリスクに対して、どのように対応していくのか逐一記載することは難しいが、リスクへの備え、その対応の重要性等を前提としたまちづくりについて記載させていただいた。具体的な施策については、24 ページの保健医療の施策で健康づくりと疾病予防の推進で、元々は健康づくりの推進だったが、疾病予防も含めている。

新しい生活様式の普及が進んでいく中で、個人が相互理解で進めていく状況だと思う。町が進めるイベント等もコロナを踏まえて対応してきた。今後の 10 年も様々なことがあると思うが、その状況に応じて柔軟に対応していきたい。

委員 社会福祉施設の建設検討委員会に携わっているが、コロナで大幅に遅れることになった。今すぐできるような話が 5~6 年遅れることになる。基本計画が順調に進めば

よいが、コロナによって遅れるのではないかと危惧している。

事務局

R3～R7 の前期実施計画を整理している。PDCA サイクルの中で不測の事態に臨機応変に対応していく必要があると考えている。計画通りにいけばよいが、コロナのことも含めて難しい状況もあるかと思う。

田中会長

その他に意見があればお願いしたい。意見が特にならないようなので総合計画についてはこのような案でとりまとめることでよろしいか。

— 一同了承 —

(4) 高浜町総合計画の答申案について

事務局

高浜町総合計画の答申（案）について 説明

田中会長

審議会からの答申案について皆様からのご意見等をお願いしたい。

これ以外にもご意見、ご質問等があればお願いしたい。

これをもって審議会の答申とさせていただきたいがよろしいか

— 一同了承 —

4. その他

5. 閉会

田中会長

昨年 12 月から審議いただき、総合計画案を提出できる段階にいたった。皆様に感謝申しあげる。町を取り巻く環境が大きく変わっている。すべての枠組みが変わり、生活様式も変わっている。以前から進められていた働き方改革もそうせざるを得ない状況で急激に進んだ。この先、コロナとどのようにつきあっていくのか。今日明日で簡単に解決できることではない。

お集まりいただいた皆様は各組織、団体の代表であり、個々に動くのではなく、一緒に協力して、過ごしやすい町、安全で過ごしやすい町を、みんなの手でみなさんと一緒につくっていききたい。

今後、具体的な取り組みについてもご協力賜りますことをお願いして、1 年間のお礼と協力体制のお願いを申し上げたい。この 1 年間お疲れ様でした。ありがとうございました。

(答申伝達式)

田中会長

昨年 12 月から諮問された総合計画について、答申として伝達させていただく。

野瀬町長

答申をいただきました。まずは御礼を申し上げたい。昨年 12 月から 7 回にわたり、大変ご熱心に多岐にわたるご議論をいただきましたこと、改めて御礼申しあげたい。この総合計画は来年 2021 年から 10 年間の高浜町の計画である。この答申を真摯に受け止めて、行政のみならず、住民の皆様、そしてこの計画を一緒になって進めていただく事業者の皆様と一体感を持って推進し、将来にわたって、高浜町の暮らしの内容が一つ先の豊かさを感じていただけるようになるように取り組んでいきたい。委員の皆様には熱心なご議論をいただき御礼を申し上げるとともに、今後の高浜町行政の推進への格別のご理解とご協力をいただきますことをお願い申し上げて、御礼のご挨拶とさせていただきます。